

本邦系統用蓄電池設備によりフルマーチャントを前提に行う事業に対する
本邦初のプロジェクトファイナンス組成について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下「当行」）は、関西電力株式会社、株式会社きんでん及びジャパン・インフラストラクチャー第一号投資事業有限責任組合が出資する多奈川蓄電所合同会社（職務執行者 北川 久芳、以下「合同会社」）との間で、金銭消費貸借契約（以下、「本契約」）を2025年3月31日に締結いたしました。

本事業は、大阪府泉南郡岬町多奈川における系統用蓄電池事業を対象としたプロジェクトファイナンス案件となります。本系統用蓄電池事業では、株式会社きんでんがエンジニアリング・蓄電池調達・蓄電所建設、及びきんでん関西サービス株式会社が蓄電所の保守・メンテナンス、E-Flow 合同会社が電力市場での蓄電池運用、関電アセットマネジメント株式会社が蓄電所の運営管理を行います。合同会社は卸電力市場、需給調整市場、容量市場等での売電や調整力提供、容量提供によりマーチャント収入を収受いたします。主に本邦電力系統における需給調整機能として、太陽光や風力等の再生可能エネルギーをはじめとする電源の出力変動の平準化、並びに電力の安定供給に寄与するものです。当行は、本邦において黎明期に位置する系統用蓄電池事業に対するプロジェクトファイナンスの取り組みが活発になることを見据え、これまで培ったノウハウを生かしリスク整理やファイナンススキームに関して検討を進めてきましたが、この度上記電力市場でのマーチャント収入のみをプロジェクトファイナンスの返済原資とするファイナンススキームを構築し、本契約の締結に至りました。

■多奈川蓄電所合同会社概要

設立：2025年3月7日

所在地：東京都千代田区丸の内1丁目4番1号東京共同会計事務所内

出資比率：関西電力株式会社 40%、株式会社きんでん 10%

ジャパン・インフラストラクチャー第一号投資事業有限責任組合 50%

■蓄電所概要

名称：多奈川蓄電所

商業運転開始：2028年2月予定

設置場所：関西電力株式会社 多奈川発電所跡地（大阪府泉南郡岬町多奈川谷川 2539 番地 13）

定格出力：99MW

定格容量：396MWh

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。2021年5月17日に公表の通り、2050年までに投融資ポートフォリオの温室効果ガス排出量のネットゼロ、及び2030年までに当社自らの温室効果ガス排出量のネットゼロの達成をコミットする「MUFGカーボンニュートラル宣言」を発表しました。その実現に向けて、2030年度までのサステナブルファイナンス目標額100兆円を掲げ、今後もお客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以上